

## 名古屋生活クラブからの緊急連絡

## 福島第一原子力発電所事故に関わる情報 ⑤

## 義援金についての報告

**4月5週まで受け付けた義援金  
2,684,500円  
になりました。**

本当にありがとうございます。

分配に関して、皆様からのご意見を広く募集いたします。地震ではなく、原発事故の犠牲になってしまった生産者。建物などの被害は無くとも長期的に製造困難な生産者。工場ごと失くしてしまったメーカーなど被害がさまざまです。会員の皆様から頂いた義援金ですので、出来れば多くの方からご意見いただきたいと思っております。以下お読みいただき、おたよりいただければ幸いです。

なお、継続的に義援金募集を、とのご意見が多くあり、そちらも検討しています。

## 「風評被害」と言うけれど

栃木県の根岸さんの「菜の花」、放射能調査で政府の基準 2000 ベクレル (ヨウ素) を超していました (独自調査)。栃木県の検査では、最大でも 400 ベクレルの野菜しか報告されていないので、政府、県の調査だけでは不安を感じる。放射能測定器 (食品用) を購入すること、独自基準値 (目標値) を協力して作っていく必要性を感じて、元専門家、宅配グループの人達と会合をしています。

それはそれで難しい問題なのですが、もっと難しいのは、出荷を止めてもらっている野菜に対する作付責任です。2000 ベクレルという政府基準を超えている部分はまだ良いとしても、それ以下の野菜についてはだれが責任をとるのか? 放射能汚染の野菜を食べる責任は無いとはいえ、生産者の困窮も想像に余りある。栃木県の根岸さん、他の出荷先としていた温泉の付属の野菜コーナーも地震でつぶれ、出荷先が無くなっています。政府の基準に合わせていたら、こういう問題は生じず、基準値を超した野菜は東電の補償を基本的には? 受けられるはずですが、しかし、この基準、信頼できないのです。ヨウ素の場合、日本は一律 2000 ベクレルですが、ヨーロッパ共同体の場合、乳幼児の基準は 150 ベクレルなのです。政府の基準 (2000 ベクレル) 以下の野菜は安全なので、購入しないのは「風評被害」である様な意見・報道が大量にされていますが、風評被害の部分も確かにあるけれど、当然の部分もあるのです。

本来は私企業である東京電力が (例えば僕らが中部電力に行っても相手にされないし、情報ももらえない……私企業だから)、危険をかえりみずに反対者をけちらかして、原子力発電を、利益を求めて動かしてきたのだから、「すべての責任は東京電力にある」とは思います。が栃木の根岸さんが補償を受けられる可能性は低く感じられます。私としては、政府に基準値の引き下げを求めることがまず必要だと思います。また、これは皆さんにおたずねしたいのですが、義援金の一部を根岸さん達栃木の野菜生産者に一部、渡しても良いものでしょうか? 御意見下さい。

株式会社名古屋生活クラブ代表 伊澤

## 生産者の詳しい状況

## 丸友しまか (岩手県宮古市)

家、工場無事。1ヶ月売上なし

## 八木澤商店 (岩手県大船渡市)

家、工場全壊。再建に向け、農業からスタート

## 溝畑水産 (北海道厚岸)

牡蠣、あさがりが流される。2年間牡蠣、あさりの出荷量激減 (又は出荷できない)。

その後の牡蠣も種牡蠣の入荷 (宮城県) 見通したたず。数年に渡る収入の見込みが立たない

## 高橋徳治商店 (宮城県石巻市)

家全壊、工場損壊。従業員解雇せざるをえなくなり、高橋社長一人で工場整理。再建まで1年以上か

## パプアニューギニア海産 (宮城県石巻市)

家、工場全壊。大阪へ避難中。拠点を移して再開検討

## みんなの未来 (栃木県)

自主検査により放射能汚染の懸念があり、出荷を停止中。作付けお願いしていた菜花出荷できず。売上減。